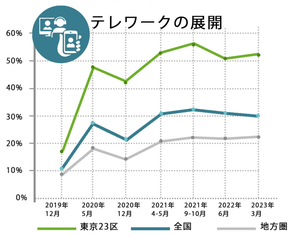
SOHO 2.0「ワーキングホリデー」

ーーアフターコロナ時代の地域成長の源

コロナ禍の背景

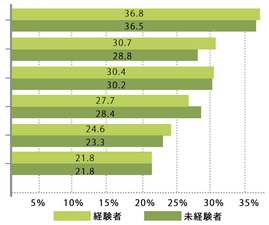
テレワークの展開



地域別のテレワーク実施率※（就業者）
令和5年　内閣府

リモートワーク等、仕事の手段が増え、人々はもはや都会のオフィスにとどまる必要がなくなってきた。

新たな働き方の希望

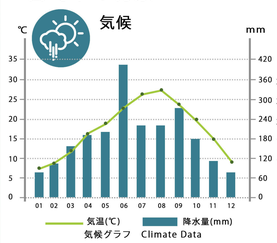


ワーケーションの実施理由(複数回答)（従業員）
令和４年３月　国土交通省 観光庁

人々はより自由で快適なワークライフ体験を求めていると言える。

宮崎市の背景

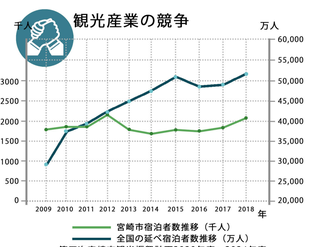
気候



気候グラフ　Climate Data

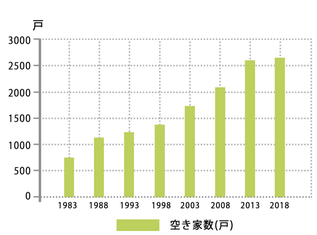
宮崎の自然と過ごしやすい気候が魅力である。

観光産業の競争



第四次宮崎市観光振興計画2020年度～2024年度

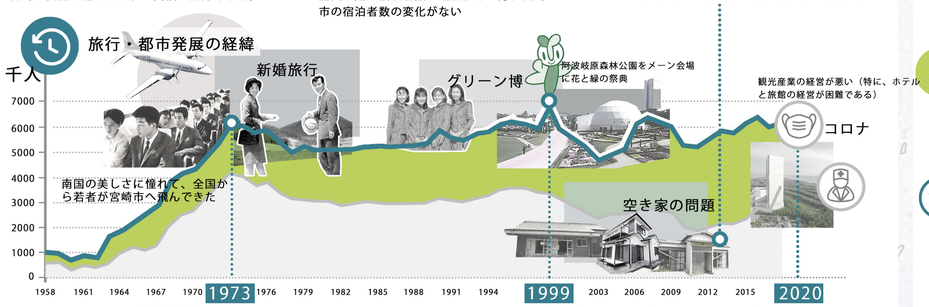
全国の延べ宿泊者数が増加する一方、宮崎市の宿泊者数の変化がない



宮崎市の空き家数の推移宮崎市「宮崎市観光統計」

少子化・人口減少による住宅の空室化

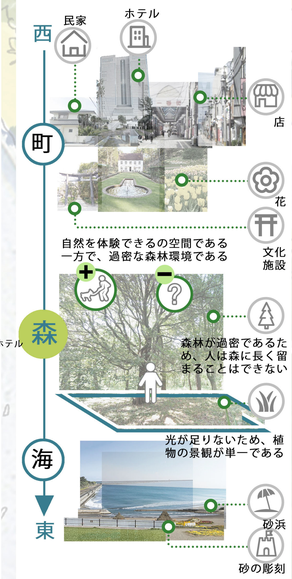
旅行・都市発展の経緯



ワーケーションの実施理由(複数回答)（従業員）令和４年３月　国土交通省 観光庁

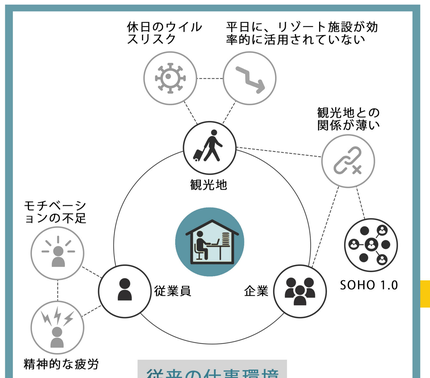
宮崎市は、昔から新婚旅行やグリーン博などで、多くの観光客が訪れてきた。しかし、最近は全国各地で観光産業の激化やコロナ禍によって、地元の観光産業に影響が出ており、宮崎市も同様である。また、人口減少による住宅の空室化も深刻な問題となっている。宮崎市は、これらの課題に向き合い、産業をより活性化させる必要である。

敷地の背景



過密な森林環境が原因で、森林が上手く活用されていない現状にある。森林公園を開発することで、森林環境を整え、周囲にも良い影響を与える。

コンセプト



従来の仕事環境

従来の仕事環境では、精神的な疲労やモチベーションの不足などが仕事の効率を下げていた。観光地では、平日に観光客が少ないため、リゾート施設が空になる。対して、休日になると観光客が急増し、観光客全員が感染症に感染するリスクが上がる。更に、企業と旅行先との連携が少ない。

SOHOとは、自由で柔軟な生活と仕事のあり方を指す。自分の希望に応じて時間や場所を選択できるので、制限が少ない働き方である。一方で、従来のSOHOは、働く人と観光地や自然との関係が薄いことが課題である。

好機

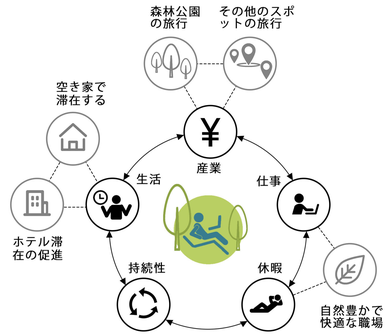
- テレワークなど多様な仕事のやり方
- 人々はより自然で快適なワークライフを求めている
- 自然豊かな宮崎市と阿波岐原森林公園

転換

目標

- 地域産業の振興
- 人気と活力の促進
- 森林公園にさらなる可能性を与え、未来への価値を提供する

アップグレード



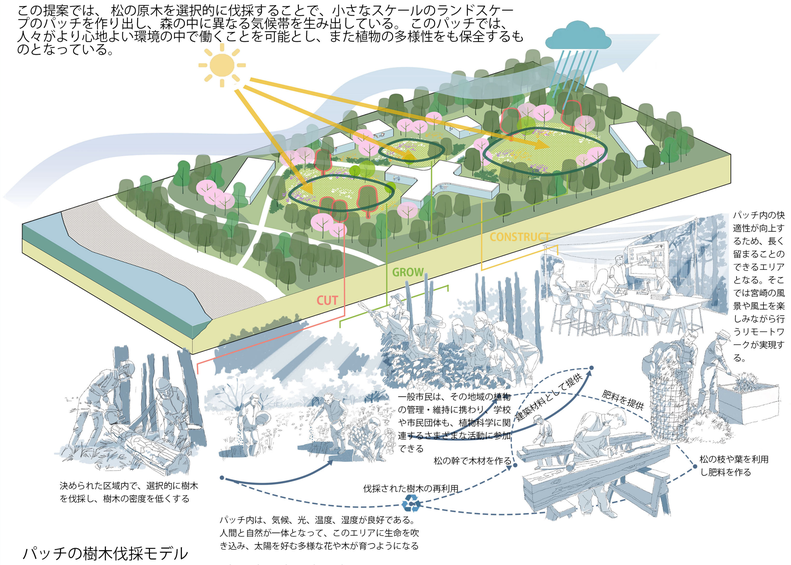
SOHO 2.0ワーキングホリデー

本提案では、休暇と仕事を組み合わせるワーキングホリデーを目指して、自然豊かで快適な仕事環境で、数週から数ヶ月間の短期間にテレワークを行う。その結果、地域経済の活性化が期待される。例えば、ワーキングホリデー対象者はホテルや空き家などに宿泊し、森林公園だけでなく、他の観光スポットにも訪ねることができる。また、職員と地元住民との交流が期待される。

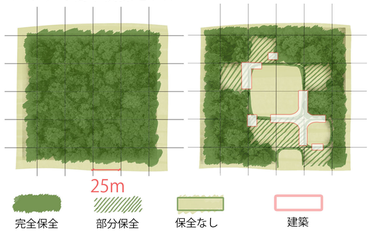
SOHO 2.0は、全国各地のワーカーが自然豊かな観光地でワーキングホリデーを行うことによって、ストレスレスな環境の中での仕事の効率性を促進させる。以前のSOHOより、自然や観光地との関係が深くなり、そして地域の活性化、産業に大きく貢献できる。

I 自然で快適なオフィス環境

この提案では、松の原木を選択的に伐採することで、小さなスケールのランドスケープのパッチを作り出し、森の中に異なる気候帯を生み出している。このパッチでは、人々がより心地よい環境の中で働くことを可能とし、また植物の多様性をも保全するものとなっている。

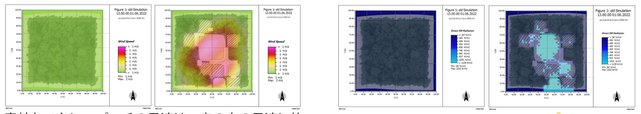


パッチの樹木伐採モデル



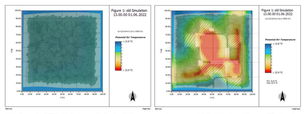
このアプローチの有効性を検証するため、微気候シミュレーションソフトENVI-metを用いて、設計前後のモデルエリアの気候シミュレーションを実施した。
シミュレーション時期は、宮崎市の2022年6月とする。まず、ソフト上でサンプル林のモデルを構築し、その後、宮崎市が位置する実際の緯度経度、6月の宮崎市の日平均気温、相対湿度、風速の情報を入力した。また、シミュレーションを行ったところ、表示された結果は、人体が感じる1.4mの高さの気候に近いものであった。

（平年値（年・月ごとの値）. 気象庁. [2017-07-08].
（原始内容存档于2016-03-05）
観測史上1～10位の値（年間を通じての値）. 気象庁. [2017-07-08].
（原始内容存档于2016-03-05）

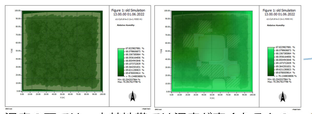


パッチ内の日射量が大幅に増加し、働く人々に十分な日射を届け、多様な植物の生育を可能にする。

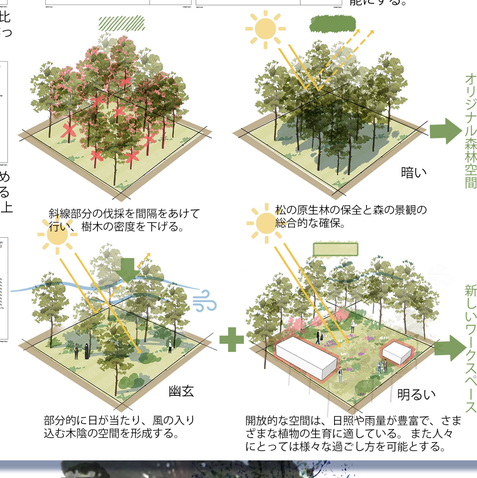
意外なことに、パッチの風速は、森の中の風速に比べて減少しており、強風に邪魔されない空間を作っている。



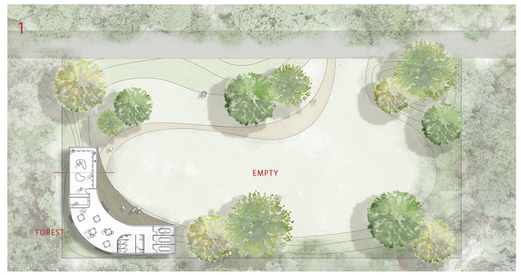
気温の面では、背の高い松の木が密集しているため、地上の気温は低く、長時間の滞在では寒く感じることがある。デザイン後、パッチの温度は大きく上昇し、最大で2度以上上昇した。

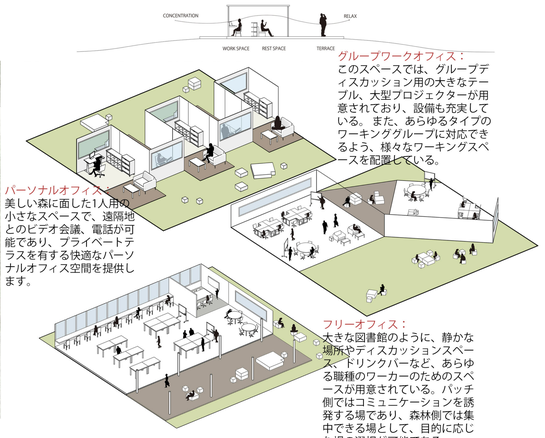


湿度の面では、森林地帯では湿度が高くなるものだが、オープンパッチでは相対湿度が60%前後と人間にとって快適なレベルに達している。



II 自由で多様なオフィス空間





III 地域の生活環境との一体化

仕事の後、人々は宿泊やホテルなどに滞在し、地元の文化的な生活やサービスを楽しむことができる。また、観光スポットやアクティビティも充実しており、神社にお参りしたり、サイクリングロードを走ったりすることができる。SOHO 2.0は、周辺の住宅地の発展に貢献し、その地域の観光や産業の発展にも繋がるでしょう。

1. 仕事の後、民泊へ

・地元住民
自分の家を民泊として経営し、様々なモノやサービスを提供して売り上げにつなげる。

2. 仕事の後、ホテルへ

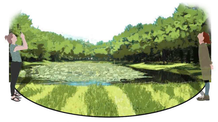
・地元ホテルの経営者
より多くのお客さんが訪れる

3. 仕事の後、空き家拠点へ

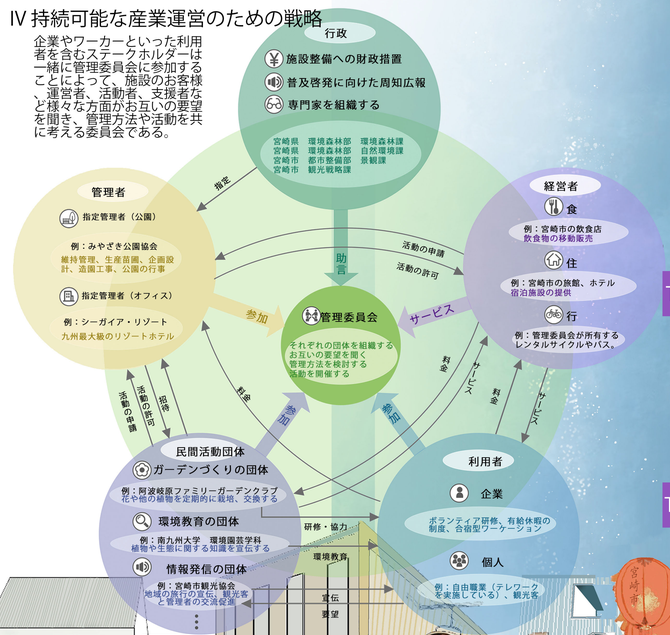
・外に移転した地元住民
宮崎市に戻って、空き家や空き地を経営することによって、地元住民とワーカーが様々な交流と活動ができる。

4. 仕事の後、観光地へ

公園の中でサイクリング


宮崎市の風景を鑑賞

宮崎市の文化を体験

IV 持続可能な産業運営のための戦略

企業やワーカーといった利用者を含むステークホルダーは一緒に管理委員会に参加することによって、施設のお客様、運営者、活動者、支援者など様々な方面がお互いの要望を聞き、管理方法や活動を共に考える委員会である。